

インフォメーションディスプレイ Vol.39

静岡県警察
中部運転免許センター 様

昭和46年設立、静岡県250万人ドライバーの業務管理を受け持つ中核的な拠点です。年間約80万人強が利用しますが、施設老朽化のための建て替えに合わせ来庁者の利便性と業務の合理化を図る目的で、この度、インフォメーションディスプレイを全面的に導入されました。



所在地：静岡市葵区

見やすく、わかりやすく、インパクトも抜群。
講習や試験、合格発表をいちだんとスムーズに、
的確に行えるようになりました。

導入台数

PN-S655 8台
PN-S525 18台
PN-465 5台

運 転免許試験場と言えば平日、休日を問わず、ひっきりなしに利用者が訪れるだけに、いかに効率よく誘導するかが大きなポイントです。そこで、新施設の施工とともに話が持ち上がったのが液晶ディスプレイの導入です。

動画をまじえた表示は非常にアイキャッチが高い、加えてどこに設置しても見やすく、センター内での手続き案内や合格発表、講習や学科試験など、活躍の場は広いようです。「交通安全運動」をはじめ各種インフォメーションの内容は、まず職員たちで元原稿を作り、それをシャープで画像に落としこみました。最初にひな形さえ作っておけば、あとは必要なときに職員が毎回、情報を手直しするだけで、データの更新作業も飛躍的に向上しました。また、以前のように紙に書いて告知するというのもなくなり、エコロジーな面でも大きな意味があります。

このところ、当センターの評判を聞きつけ、地元を問わず他県からも訪れる関係者が後を絶たず、その利便性はますます各地で知られるようになりました。



2階インフォメーションコーナーには、52型・横4枚を採用。画面切替の時間も自在に設定できます。



ディスプレイに接続されたスピーカでのアナウンス後、合格発表を表示。大型二種、大型二輪、普通二種、普通一種などの合格者が次々に表示されていきます。

導入時の評価ポイント

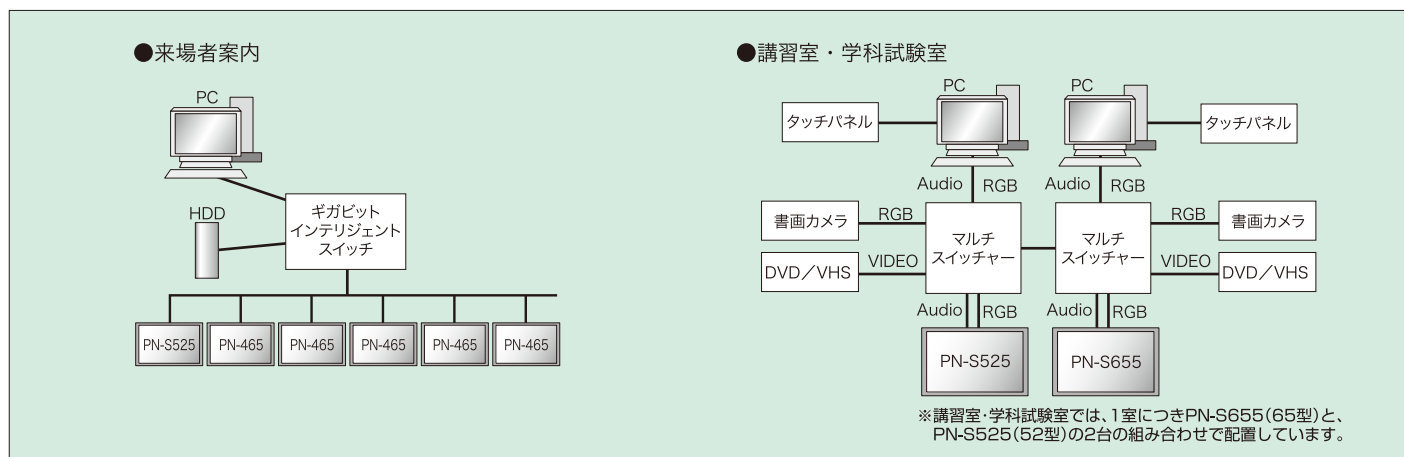
- 細かな文字や緻密な線画までくっきり見やすい
■ 高精細フルスペックハイビジョン

- 長時間の使用にも耐えられる
■ プロユースに対応した耐久性・信頼性

- わかりやすい操作でコンテンツの作成・配信・表示を
■ トータルにサポートする「e-Signage(イーサインエジ)」

- 用途に適した1台が見つかる
■ 幅広いサイズバリエーション

■ システム概略図



導入の経緯

明るい中でも映り込みが少なく高輝度。
静止画の表示にも適した、
インフォメーションディスプレイの長所が決め手に。

導入前までは、LED式の掲示板や手作りのポスター、看板などで各種案内や合格発表を行っていました。しかし、以前の2.3倍の広さの新庁舎のオープンにより、多数の来庁者に対応できる設備を再考する必要がありました。『液晶ディスプレイをはじめプラズマディスプレイなどいろいろなディ

スプレイを検討しましたが最終的に「明るい中での輝度の高さ」「照明器具の映り込みの少なさ」「静止画の表示にも安心」という点で液晶ディスプレイ、中でも高品質のインフォメーションディスプレイに決まった』とおっしゃいます。



1階正面エントランスのフロア案内。日本語、英語に加え、ポルトガル語まで入った案内表示です。

導入後の感想

以前に比べいちだんと手間が省け、
職員の間でも高く評価されています。

例えば、講習室。旧館では、映像を見ていたとき、プロジェクターだったのでカーテンを引き照明を落とさなければなりません。また、試験の残り時間も、ストップウォッチで測っていたわけです。ところが、液晶ディスプレイを導入したおかげで、来庁者には、その動線にあったタイムリーな案内表示が音声と共に流せるようになりました。また、受講生には、明るい講義室でも試験官のタッチパネル操作だけで正確に情報の伝達ができるようになりました。『かつて

の手間が嘘のように省け、職員の評判も上々』とおっしゃいます。



技能試験では、口頭で伝えていた内容がすべてタッチパネルによる操作で音声と共に表示されます。職員の負担を軽減しました。



講習室・学科試験室では、より見やすいように正面と室内中央にディスプレイを配置しました。

今後の展開予定

県下の他の運転免許センターにも、ぜひ導入したい。

『静岡県には、他に東部、西部と2つのセンターがあるのですが、公共サービスの向上という点からもぜひ導入したい』とお考えです。また、道路交通法の改正で、まったく耳の聞こえない方でも、ある一定の条件

のもと、免許を取れるようになりました。ますます、インフォメーションディスプレイの活躍する機会が増えることでしょう。『ゆくゆくは、映像を通じて手話で情報を伝えられれば、ますます頼もしい存在で

しょう』とインフォメーションディスプレイの性能を実感され、次々と新しい構想が膨らんでいるようです。

●お問い合わせは

シャープ株式会社

情報システム事業本部 ビジネスソリューション機器事業部
電話：(03)3260-8217 / (0743)55-6373

2008年12月現在